



沼めぐりニュース

Vol.4 7/21~7/30

7月22,23日

沼めぐりコース 利用検討会議・専門家視察

木についている爪痕を
解説しています

ヒグマの食べ
た痕跡を確認
しています

ヒグマに関する有識者2名とともに コースを歩き、現地を視察

コース内に多数あるヒグマのフン、食べた痕跡などを
実際に見ながら、どのような利用方法であれば
コース開放が可能なのかを検討しながら歩きました。



知床財団 秋葉さん



閉鎖が続く沼めぐりコースですが、利用再開を目指して検討を続けて
います。

このコースはヒグマが多く暮らす場所ですが、ここ数年の変化として
「人がいたら逃げる」から「人がいても気にしない」ヒグマが増えて
きており、さらに昨年度と今期に関しては「人に近づく」ヒグマも確
認されていることから、これまでの利用ルールのままではコースの開
放が難しい状況です。

そんな中、7/22、23と2日間にわたりヒグマの専門
家を招き、環境省、上川町、北海道など関係機関と合
同で利用ルールの再設定を含めた検討をする会議と現
場視察が行われました。

ヒグマとの距離感を保ちつつ、どのような形だと今
後利用を続けることが可能なのか。今シーズン中の
利用再開を目指して調整を重ねているところです。



もりねっと山本牧さん

センターから300mぐまの爪痕

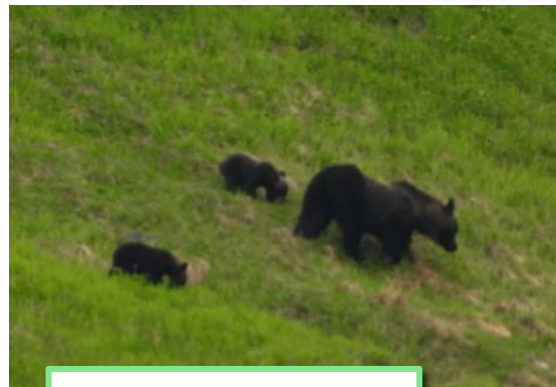


大学沼

今後しばらくは閉鎖が決定しています。その後の開放については、コースの状況を見つつ、管理者である北海道等、関係行政と検討を行ないながらの決定となります。
★開放状況は随時ヒグマ情報センターのSNS等をご確認ください！



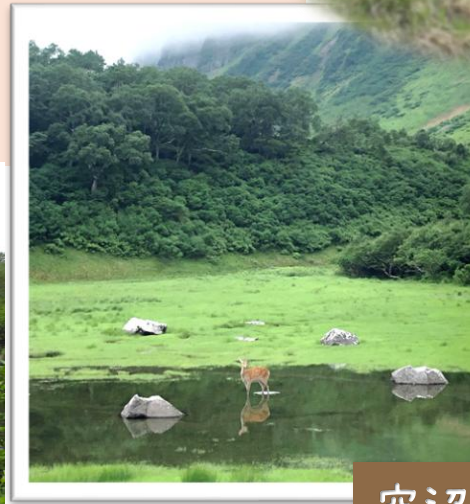
7/23高根ヶ原斜面にて



7/24高根ヶ原斜面



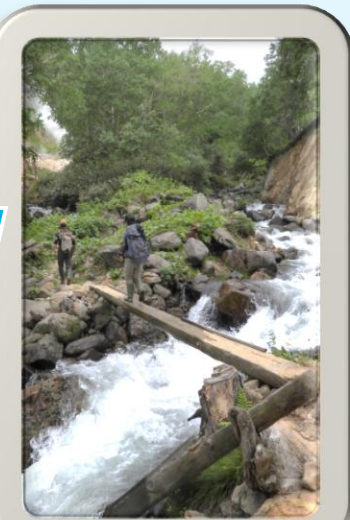
エゾ沼



空沼



7/24センサーカメラ



橋の整備をしました
ヤンベ分岐手前のヤンベ
タツ川にかかる丸太橋が
1本流されて細くなって
いたところを2本にし、
歩きやすくなるように
整備を行いました。

大雪山国立公園
高原温泉沼めぐり登山コース
2025年 第3号 (7月31日)
発行：ヒグマ情報センター